要素形態	函館	工業高等	専門学校	開講年度	開講年度 平成29年度 (2017年度)			業科目	オブジェクング	フト指向プログラミ	
空野砂糖   中室	科目基礎				-		•				
### 1985年	科目番号		0387			科目区分		専門 / 必	 修		
####	授業形態		授業			単位の種別と単	位数				
	開設学科		生産シスラ	<del>-</del> ム工学科		対象学年		4			
野楽自標	開設期		前期			週時間数		2			
野楽自標	教科書/教	材	WEB上で:	 オンライン配布し	 ます。アドレス: h	ttps://tmytokai.d	.github.io/open-ed/course/oop/				
1.グラスの組含を利用でき、ソースプログラムを記述できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールに変換して実行できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールの静か合物名できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールの静か合物名できる。	担当教員							•	· · · ·		
1.グラスの組含を利用でき、ソースプログラムを記述できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールに変換して実行できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールの静か合物名できる。 3.グラトウェア開発の規模において確認的とされるシールを使い、生成したロードモジュールの静か合物名できる。		<u> </u>									
理想の公割金レベルの目安	1.クラスの 2.ソフトウ 3.ソフトウ	の概念を説明 フェア生成に フェア開発 <i>の</i>	月でき、ソープ 二利用される様 D現場において	スプログラムを記 標準的なツールや に標準的とされる	述できる。 環境を使い、ソース ツールを使い、生成	、プログラムをロー なしたロードモジュ	- ドモジ Lールの	ュールに変 動作を確認	換して実行で できる。	きる。	
	<i>10</i> 25	777		田相的+>到法1	ベルの日字	────────────────────────────────────	·Λ' II ΦΕ		土列達1.ベルの日室		
# 論論解表現他を用いて連動する施 節のラスのソースフログラム ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ローバーに変換し来行で できない。 ローバーのファンスフログラミングのコードモジュール をデバッグすることでき 学科の到達目標項目との関係 教育方法等						100 1			,		
# 論論解表現他を用いて連動する施 節のラスのソースフログラム ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ロードモジュールに変換し来行で できない。 ローバーに変換し来行で できない。 ローバーのファンスフログラミングのコードモジュール をデバッグすることでき 学科の到達目標項目との関係 教育方法等	評価項目1	_		複数のクラスを					クラスの概念を達解せず、クラス   を設計できない。		
解項目3	評価項目2	2		統合開発環境を 数のクラスのソ ロードモジュー	統合開発環境を用いてスタンドア ローンクラスのソースプログラム をロードモジュールに変換し実行			統合開発環グラムを口できない。	統合開発環境を用いてソースプロ グラムをロードモジュールに変換 できない。		
学科の到達目標項目との関係	評価項目3	3		数のクラスの口	ローンクラスのロードモジュール			ユールをテ	総合開発環境を用いてロードモジュールをデバッグすることができない。		
数音方法等	学科の予	達日煙で	日との関		•	101/11/20	٥٧٥		1.0.0.0		
Javas_JavasCropt_PHP_C\$ _ C++_ Objective-C_Swift x6. 現在主演となっているプログラミング言語はほぼ例外を			マロしいが	/IN							
受薬が進め方・方法 ・ 書語としてJavaを使用します。 ・ その他、群しくはWBCM〜シの方を参照して下さい。アドレス: https://tmytokai.github.lo/open-ed/course/oog 主意点	概要	<del>ऽ उ</del>	くオブジュ   なお、研究	こクト指向言語で R・課題や実社会(	す。従って技術者は こおける課題の解決	はオブジェクト指向 いや問題の原因を明	現在主流 1プログ 1らかに	ことなってい ラミングを するために	\るプログラミ 学ぶ必要があ 、オブジェク	ミング言語はほぼ例外な 5ります。 1ト指向プログラミング	
対している	授業の進め	か方・方法	· 言語とし	ってJavaを使用し	ます。		ス: http:	s://tmytol	kai.github.io	open-ed/course/oop/	
週 授業内容   週ごとの到達目標	注意点										
週 授業内容   週ごとの到達目標	授業計画	 5	•								
1週   Hello World   JavaでHello Worldを実行できる。	322/01/		调排				调ごと	の到達目標			
2週											
1stQ   1stQ		1stQ	2)国	クラスの定義方法		クラスを理解しインスタンスを生成できる。					
1stQ   5週 コンストラクタ   コンストラクタを用いたオブジェクト指向プログラミングができる。			3週   社	复数インスタンス	複数のインスタンス			スを生成できる。			
1			4週 ;	メソッド		できる。					
10週   オーハーロート			5週 🗆	コンストラクタ		ングができる。					
1回			-								
10週						できる。 インヘリタンスについて理解し、これをプログラミン					
10週 ポリモーフィズム(1)	前期					カプセル化について理解し、これをプログラミングに					
2ndQ   11週 ポリモーフィズム(2)		2ndQ				ポリモーフィズムについて理解し、これをプログラミ					
13週   汎化、関連、集約   汎化、関連、集約に関するクラス図を描ける。			11週 7	ポリモーフィズム 		ポリモーフィズムについて理解し、これをプログラミ					
13週   汎化、関連、集約   汎化、関連、集約に関するクラス図を描ける。			12週 🧸	クラス図とオブジ							
14週			13週								
13週   プラス設計 演員(2)   いたオブジェクト指向プログラミングができる。						実際にクラス設計を行い、連動する複数のクラスを用いたオブジェクト指向プログラミングができる。					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標       分類     分野     学習内容     学習内容の到達目標     到達レベル     授業週       評価割合     試験     発表     相互評価     態度     ポートフォリオ     課題     合計       総合評価割合     0     0     0     0     100     100       基礎的能力     0     0     0     0     0     0				, ,				実際にクラス設計を行い、連動する複数のクラスを用いたオブジェクト指向プログラミングができる。			
分類     分野     学習内容     学習内容の到達目標     到達レベル     授業週       評価割合     試験     発表     相互評価     態度     ポートフォリオ     課題     合計       総合評価割合     0     0     0     0     100     100       基礎的能力     0     0     0     0     0     0		   フ <del>カ</del> リナ									
評価割合   試験   発表   相互評価   態度   ポートフォリオ   課題   合計   合計   ペロード   名字   名字   名字   名字   名字   名字   名字   名		ュゲルリキ				<del></del>			I.		
試験     発表     相互評価     態度     ポートフォリオ     課題     合計       総合評価割合     0     0     0     0     100     100       基礎的能力     0     0     0     0     0     0			分野	子省内谷	子省内谷の到達日	保			[	到達レバル   投業週	
総合評価割合     0     0     0     0     100     100       基礎的能力     0     0     0     0     0     0	評価割合			T	T :	T			1		
<b>B</b> 基礎的能力 0 0 0 0 0 0			涣					トフォリオ			
						<del>  -</del>					
専門的能力   0   0   0   100   100   100						+-					
	専門的能力	ס ל		[0	0	[0	0		100	100	

分野横断的能力	ln	ln	Λ	ln	ln	ln	l n
ノノエデリ央ロハレン月ピノノ	10	10	U	10	10	10	U